

県剣連会議・事業等

令和6年度
第2回女子剣道形講習会

8月17日(土)

福井県立武道館

県剣連女性部は8月17日(土)、福井県立武道館小道場で県学校剣道連盟と合同で「第2回女子日本剣道形講習会」を行いました。

前回から引き続き、講師は岩本卓也先生(教士八段)が務め、「日本剣道形と80センチ理論」と題して研修会を行いました。最初に岩本先生の講話の中で、形の所作や剣道について



大切な話を聞かせていただいた後、日本剣道形の1本目から順番に重要な部分の説明を受けながら、実践を通して7本目まで学びました。改めて日本剣道形の奥の深さと難しさを感じました。休憩を挟み、次に「80センチ理論」と題して「踏み込み稽古」を行いました。

この稽古ではいかに足を前に出して踏み込んでいかを痛感させられ、これから続けていきたい稽古内容でした。最後は岩本先生、学校剣道連盟の先生方を交えて2分間10セットの廻り稽古を行い、女性部にとってたいへん充実した研修会になりました。

令和6年度 剣道昇段審査
研修会(四段以上)

10月6日(日)

福井県立武道館

福井県剣道連盟は10月6日(日)、福井県立武道館で「令和6年度剣道昇段審査研修会(四段以上)」を開催しました。全体を相模利朗先生が見守られる中、受講生への指導を堀江範雄先生、川野学先生、岩本卓也先生の3名が務め、各地区剣連から七段6名、六段3名、五段2名、四段1名の合計12名が受講、それぞれ上の段位を受審するという設定で受審段位ごとに模擬審査を行いました。

模擬審査では1組終えることに3名の先生方が一人ずつ良かった点、気になった点、改善点などの合格ポイントの指導を行いました。

3名の講師が共通して指導されたポイントとして、所作礼法、着装を整えること、氣勢を充実させること、攻めて機会と感じたら打ち切ること、などが挙げられていました。

最後に全員で互角稽古を行い講習会を終了しました。

■寸評

講師 教士八段 岩本 卓也

無くて七癖という言葉があります。自分では癖がないと思っけていても、上の先生が観察すると七つぐら

いの癖はすぐに見つけられるという意味です。剣道が上達してくると自分のカラーが出てきますが、先生が注意しないところは個性、先生が注意するところは癖、特に厳しく注意するところは悪癖と真摯に受け止め、当講習会を自分の剣道を見つめ直し、ステップアップするためのきっかけにして頂けましたら幸いです。

令和6年度
第3回「日本剣道形講習会」

10月13日(日)

福井県立武道館

福井県剣道連盟は10月13日(日)、福井県立武道館で「令和6年度第3回日本剣道形講習会」を開催しました。初段38名(男26名、女12名)、二段31名(男19名、女12名)、三段12名(男8名、女4名)、四段9名(男9名)、五段1名(男1名)の合計91名が受講しました。

初段の講師は小堀先生、近藤先生、和田先生、鈴木先生、辻先生の5名、二段の講師は柳原先生、岡田先生、北出先生の3名、三段の講師は岩本先生、四・五段の講師は川野先生が担当され、係員として初段は寺木先生、二段は梅原先生、三段は田中先生、四・五段は大味先生がサポートしました。

14時30分まで講習を実施、14時40分から大道場で形修練状況確認式を五段から順番に行い、各組の形が終了する度に講師の先生方から再度ご指導を頂きました。

講師の先生方が共通して注意されたことは次の3点です。

- ・木刀の物打ちを打突部位に届かせること
- ・氣勢を充実させること
- ・打太刀、仕太刀、双方が気を合わせて行うこと

講師の先生方からは概ね高評価でしたが、1ヵ月後の段位審査会までに今日学んだことを忘れないよう、独りで形を打ったり、教本を読んだり、YouTubeなど動画で復習をしてもらいたいと思います。(談：講師 教士八段 岩本卓也)

令和6年度第3回理事会

10月13日(日)

福井県立武道館

片山会長の挨拶の後、定款第47条に基づき片山会長を議長に選出し、議事に入りました。

【議題】

- 一、役員(参与)新任について
- 西川専務理事が資料により、丹生地区剣道連盟会長福島一郎氏を参与

に選出したい旨説明し、異議なく承認されました。

【報知事項】

- 一、令和6年度前期事業報告並びに後期事業予定について
- 西川専務理事が資料により報告しました。
- 二、令和6年度前期(9月末現在)収支計算書並びに後期収支見込について

西川専務理事、川嶋事務局員が資料により報告しました。

三、普及部の取り組みについて

田中理事が資料により、保護者向け剣道体験会に関するアンケートの実施等について報告しました。

四、(公財)福井県スポーツ協会加盟制度の見直しに関する意見アンケートについて

山本常務理事が資料によりアンケートの回答案について報告しました。

五、その他

柳原理事が第1回社会人剣道大会の予算、協賛等について報告しました。

以上で議事を終了し、閉会しました。

県剣道公式ホームページについて

広報部より「お願い」

当連盟公式ホームページは、福井県剣道界のポータルサイトとして

「福井県内の剣道のことなら何でもわかる」を目指し、県剣道連盟会員への各種情報の提供はもとより、県内剣道人口の拡大を目指して、普及部と連携して少年・女性剣士の普及・拡大のための情報提供、さらにこれから剣道を始めよう、復活しよう、転勤で福井にきたから剣道したい、などの方に役に立つ情報の提供を目的としています。

つきましては広報部より次の3点について、各地区剣道連盟・各団体のご協力をお願いします。

- ①公式ホームページのURL、QRコードの記載

ホームページへのアクセス促進のため、各地区剣道連盟・各団体が行う各大会、事業等の「実施要項」、「プログラム」等に、この公式ホームページの「URL」、スマホからのアクセス用「QRコード」の記載をお願いします。

【ホームページのURL】
<https://fukui-kendo.com/>
 【スマホアクセス用QRコード】



- ②各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などのトピックス提供

ホームページの「特集」ページに各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などトピックスを取り上げていますので、トピックス情報がありましたら、原稿と画像をご提供いただきたくお願いします。

- ③各地区剣道連盟・各団体の「道場一覧」の修正情報

各地区剣道連盟と傘下の各団体・教室・道場の情報に変更・修正・追加、画像変更があれば、次の送付先に連絡ください。

※原稿・画像データ送付先

県剣道事務局
 県剣道広報部 上嶋

1月～3月の主な事業予定

【1月】

- ・1月5日(日) 福井県立武道館
- 【県剣連】令和7年初稽古(剣道・居合道)
- ・1月11日(土)～12日(日)
- 兵庫県立武道館
- 【全剣連】第29回剣道女子審判法講習会
- ・1月18日(土) 福井県立武道館
- 【県剣連】令和6年度福井県剣道大会(中学)兼県中学校剣道冬季強化大会
- ・1月19日(日) 福井県立武道館
- 【県剣連】令和6年度福井県剣道大会(高校)兼冬季高校選手権大会
- ・1月26日(日) 福井県立武道館
- 【県剣連】令和6年度第4回日本剣道形講習会

【2月】

- ・2月1日(土) 福岡県
- 【全剣連】令和6年度剣道七段審査会(福岡)
- ・2月2日(日) 福岡県
- 【全剣連】令和6年度剣道六段審査会(福岡)
- ・2月2日(日) 福井県立武道館
- 【県剣連】第19回福井県ジュニア育成強化剣道大会
- ・2月11日(火・祝) 越前市体育館
- 【県剣連】令和6年度第4回段位審査会

調査

- ・2月11日(火・祝) 沖縄県
- 【全剣連】令和6年度剣道七段および六段審査会(沖縄)
- ・2月15日(土) 山梨県
- 【全剣連】令和6年度剣道七段審査会(山梨)
- ・2月16日(日) 山梨県
- 【全剣連】令和6年度剣道七段審査会(山梨)
- ・2月16日(日) 福井県立武道館
- 【県剣連】第73回全日本都道府県対抗優勝大会・第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福井県選手選考会
- ・2月16日(日) 越前市武道館
- 【県剣連】令和6年度居合道合同稽古会
- ・3月2日(日) 京都市
- 【全剣連】令和6年度居合道六・七段審査会(京都)
- ・3月6日(木) 福井県立武道館
- 【県剣連】令和6年度第4回理事会
- ・3月16日(日) 福井県立武道館
- 【県剣連】令和6年度臨時評議員会
- ・3月23日(日) 福井県立武道館
- 【県剣連】令和6年度剣道昇段審査研修会・剣道審査員研修会
- ・3月26日(水)～28日(金) 春日井市総合体育館
- 第34回全国高等学校剣道選抜大会

- ・3月28日(金)～30日(日) 大分市
- 第47回全国スポーツ少年団剣道交流会
- ・3月30日(日) アダストリアみとアリーナ
- 第66回文部科学大臣杯全国選抜少年剣道錬成大会

各地区剣連トピックス

【敦賀地区剣連】

「創立70周年記念誌 この十年のあゆみ」を発刊

敦賀市剣道連盟はこのほど「敦賀市剣道連盟創立70周年記念誌 この十年のあゆみ」を発刊しました。奥井俊雄会長の「発刊のことば」、神谷保男名誉会長、米澤光治敦賀市長、中村紀明敦賀市スポーツ協会会長の「お祝いのことば」をはじめ、市連盟、市内3スポーツ少年団、3中学校、2高校、1実業団の10年間の戦績・活動や、2月に和歌山県の末永真理選手をお



招きして開催した「剣道世界一教室」など70周年記念事業の概要を収録。県剣連、嶺南地区各剣連、会員などに配布しました。

【越前地区剣連】

創立70周年記念「10年の歩み(平成26年度～令和5年度)」を発刊

越前市剣道連盟はこのほど、越前市剣道連盟創立70周年記念「10年の歩み(平成26年度～令和5年度)」を発刊しました。創立70周年記念事業の一環として、60周年の節目から10年を迎え連盟活動等を冊子にまとめました。

越前市剣道連盟 会長 松本敏夫

本冊子は「連盟五十年史」から10年ごとに歩みとして発刊しており、記録と記憶を辿るきっかけとなるようにと連盟会員が編集実行委員会を立ち上げて作成した手作りの冊子で、越前市剣連の辿った道のりを示すことにより、更に剣道の普及・発展に繋げて、21世紀を担う剣道愛好家の温故知新として役立てれば幸甚です。



【敦賀地区剣連】

9月7日(土)、福井養正館が老人ホームの草刈り奉仕

福井養正館が9月7日(土)、市内の特別養護老人ホーム「溪山荘」で草刈りの社会奉仕活動を行いました。子どもたちに社会貢献の大切さを学んでもらい、利用者が快適に施設を使っていただけのようにとの思いで、2011年から実施している恒例行事のひとつです。

館員の小学生、中学生、指導者、保護者らが参加し、施設周辺でフェンスに絡むツルや繁茂する雑草などを取り除きました。休憩では溪山荘の常田施設長よりかき氷の差し入れをいただき、しつかり深部体温を下げて作業に取り組みました。最後に新旧キャプテンから溪山荘さんにメッセージを送らせていただきました。暑かったけど終われば達成感で清々しい心になり、今年も大切な心を学ぶことができました。



【三方地区剣連】

福井三方道場が9月29日(日)、ボランティア活動

「若狭路トレイルラン2024」でランナーを応援



三方地区剣道連盟所属の福井三方道場は9月29日(日)に開催された「若狭路トレイルラン2024」で給水などのボランティア活動を行いました。若狭町の山岳コースを走る大変厳しいレースです。当日は福井三方道場の小学生、中学生、指導者、保護者ら17名がボランティアとして参加。選手約500名にバナナ、梅干し、お茶、水などを手渡し、激励をしました。日頃は剣道の試合を応援してもらう立場の子も達ですが、この日は汗を流すランナーに「がんばって!」「ファイト!」「おつかれさま」と大きな声をかけながら、応援する側の立場を経験しました。選手からは「ありがとう」「元気が

出たわ」「うまい」などとお礼の声をたくさんいただきました。今後に繋がるとてもよい経験になりました。

【敦賀地区剣連】

敦賀市剣道スポ少が10月5日(土)「SLを磨こう!」参加

敦賀市内の公園展示の「SL」車体をピカピカに

10月5日(土)、鉄道と港を生かしたまちづくりを目指し、市や敦賀商工会議所、市民団体などをつくる「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会が主催する「SLを磨こう」清掃奉仕に、今年も敦賀市剣道スポ少少年団の団員と指導者、保護者が参加。市内の本町第3公園に展示されている蒸気機関車(SL)「C58」の清掃活動を行い、黒い車体をピカピカに磨き上げました。

高圧洗浄機やデッキブラシで車体の汚れを落とし、公園内の草むしりも行いました。主将の上塚尚汰さん(角鹿小6年)は地元ケープブルテレビの取材も受け、普段の稽古の様子などハキハキと受け答えしていました。展示されている「C58」は「シゴハチ」の愛称で親しまれ全長18メートル、重量72トン、同公園に展示されている車両は昭和15年製造で、昭和46年までJR小浜線で運行していた車両です。

【敦賀地区剣連】
10月6日に「第105回敦賀市民剣道大会」と「福井養正館祝勝会」を開催
 敦賀市剣道連盟は10月6日(日)、敦賀市中郷体育館で「第105回敦賀市民剣道大会(敦賀市民スポーツ祭オープン競技)」を開催しました。



小学生、中学生、高校生、一般合わせて約150人が参加。幼・小学生初心者の演武にはじまり、級別個人戦や小学生団体、中学校団体戦と、小学生、中学生、高校生、一般でチームを組む地区対抗戦も行われ、市民大会ならではの和やかな大会となりました。開会式には米澤敦賀市長、花木敦賀市教育長、力野県議会議員にご臨席いただき激励のご挨拶をいただきました。

開会式後、今夏の「第58回全国道場少年剣道大会中学生の部」で優勝し、敦賀市剣道連盟の全国制覇を果たした福井養正館の選手4名(元井颯汰、山本優心、崎元煌太、縄間太智)と堤腰一昭館長、元井健伍監督にそれぞれ優秀選手賞、優秀団体賞、優秀監督賞の表彰を行いました。また本年度の(二財)福井県剣道連盟功労賞を受賞された向井俊博さんと、8月の全国教職員大会個人戦での優勝と北信越国体成年女子団体で優勝された大西ななみさんへの県剣連からの優秀選手賞の伝達表彰も行われました。



県剣連功労賞を受賞された向井俊博さんに伝達表彰



県剣連優秀選手賞を受賞された大西ななみさんに伝達表彰



第58回全国道場少年剣道大会中学生の部で優勝し全国制覇を果たした福井養正館に表彰状授与



地区対抗戦 優勝の西地区



開会式



小学生初心者の演武



粟野剣道教室 藤本佐奈選手による選手宣誓



小学生初心者の演武出場者

試合結果は次の通りです。(優勝のみ記載)

【個人戦】

- ▽小学生7～9級の部
 - 優勝 岩谷 理功 (福井養正館)
- ▽同4～6級の部
 - 優勝 川田 怜央 (栗野剣道教室)
- ▽同1～3級の部
 - 優勝 園田 愛心
- (敦賀市剣道スポーツ少年団)
 - ▽中学生男子1級以上の部
 - 優勝 岩谷 賀生 (松陵中学校)
 - ▽同2級以下の部
 - 優勝 熊谷 剛生 (松陵中学校)
 - ▽中学生女子の部
 - 優勝 川端 沙歩 (栗野中学校)
 - ▽高校男子の部
 - 優勝 窪田 圭祐 (敦賀高校)
 - ▽高校女子の部
 - 優勝 狩川 怜那 (敦賀高校)
- ▽小学生
 - 優勝 敦賀市剣道スポーツ少年団A
 - ▽中学生男子
 - 優勝 松陵中学校
 - ▽中学生女子
 - 優勝 松陵中学校
 - ▽地区対抗
 - 優勝 西地区

大会終了後、今夏の「第58回全国道場少年剣道大会 中学生の部」で

優勝し全国制覇を果たした福井養正館の「祝勝会」を行いました。奥井会長から選手らへの労いの挨拶の後、選手4名(元井颯汰、山本優心、崎元煌太、縄間太智)と堤腰一昭館長に市剣連より記念の写真パネルが贈呈され、堤腰館長よりお礼のご挨拶がありました。



【若狭地区剣連】

10月14日(月)に「第9回田村周山杯
剣道交流大会開催

中学生団体鯖江志士樹館道場
が男女ともに3位入賞！

10月14日(月・祝)

小浜市民体育館

小浜市剣道連盟は、連盟設立に尽
力し40年以上の長きにわたり小・中
学生を主体に剣道を指導され、青少
年育成、剣道普及・発展に努められ
た田村周山先生を顕彰する「第9回
田村周山杯剣道交流大会」(主催・小
浜市剣道連盟、後援・福井県剣道連
盟など)を10月14日(月・祝)、小浜
市民体育館で開催しました。県内外
から119チーム約560名が参加
しました。

試合結果は次の通りです。



■小学生団体低学年の部

※23チーム出場

- 優勝 志道館学園A (岐阜県)
- 2位 京都太秦少年剣道部 (京都府)
- 3位 昇龍館一福道場 (岡山県)
- 3位 森本剣道塾 (愛知県)



■小学生団体高学年の部

※42チーム出場



■中学生男子団体

※34チーム出場

- 優勝 せた魂剣道部 (滋賀県)
- 2位 東生駒剣道クラブ (奈良県)
- 3位 昇龍館一福道場 (岡山県)
- 3位 志道館学園B (岐阜県)
- 優勝 東レ居啓堂A (滋賀県)
- 2位 志道館学園 (岐阜県)
- 3位 鯖江志士樹館道場 (福井県)
- 3位 昇龍館一福道場 (岡山県)



■中学生女子団体

※20チーム出場

- 優勝 志道館学園A (岐阜県)
- 2位 せた魂剣道部 (滋賀県)
- 3位 志道館学園B (岐阜県)
- 3位 鯖江志士樹館道場 (福井県)





【敦賀市剣連】

福井養正館、10月27日(日)の第8回明治村少年剣道大会に出場

愛知県大山市の博物館明治村にある第四高等学校武術道場「無声堂」で10月27日(日)、「第8回明治村少年剣道大会」(主催:同大会運営委員会、後援:(公財)明治村、(一財)愛知県剣道連盟など)が開催され、全国から選ばれた20道場が参加、福井県からは福井養正館が出場しました。同館は2019年の第3回大会から出場し今回で4回目の出場(第4回、第5回はコロナ感染拡大で中止)。福井養正館は予選リーグで洗心道

場(愛知県)、大阪高楠剣朋会(大阪府)、青春英龍館道場(広島県)、京都太秦少年剣道部(京都府)と対戦、残念ながら4敗でしたがいずれも接戦で次に繋がる内容で、子供たちの成長を感じ取れる4試合でした。無声堂は、1917年に建てられ、旧制の第四高等学校(現在の金沢大学)の道場として使われていました。1970年に明治村に移築され、77〜2002年には全国から選抜された八段剣士による大会が開かれていたこともあり、剣道の「聖地」とも呼べる場所にもなっています。

【福井県剣道道場連盟】

11月9日(土)に「剣道体験・実践発表会 県予選会」開催

福井県剣道道場連盟は、剣道を通じて学んだことを作文で発表する「第47回中部地区剣道少年団研修会 福井県予選会 体験・実践発表会」を11月9日(土)、鯖江市の「アイアイ鯖江・健康福祉センター」で開催

しました。福井県剣道道場連盟加盟の各道場から小学生の部6人、中学生の部5人が発表、同連盟紺屋嶋三津男会長ら9人が審査しました。小・中学生各最優秀賞1名は愛知県道場連盟主管で12月8日(日)に、中京大学豊田キャンパスで行われる「第47回中部地区剣道少年団研修会」で発表します。



■小学生の部 最優秀賞



人・・・女子。

敦賀剣道錬成館

敦賀市立松原小学校6年 出口 咲希

「三誓願」

- 一 勉強します
- 一 剣道します
- 一 よい行いをします

これが私の道場の三誓願です。毎日けいこ前にみんなで言葉にします。言葉にするたびに「できているかな」「良い行いとは？」って考える時間です。私なりの三誓願もあります。

- 一 自分もみんなも大事にします
- 一 コツコツ努力します
- 一 いいなと思うことをします

大事にするってすごくむずかしい。特に自分を大事にすること。人のことを思いすぎると、自分が後回しになったり、自分の気持ちにうそつきになる。その時は、一生懸命で分らないけど、だんだん苦しくなったり、合わせすぎて悲しくなっ

たり、胸がギュッってなって、気持ちパンパンになる。だから、最近は何か特別なことをするんじゃないかと、相手の気持ちに気づこうとしてたり、寄りそったり、はげましたり、そばにいてあげることが優しいっていうことかなって思うようになった。そして、自分に対してががんばってるねって言ってあげたり、さすってあげたりして大切にしている。

私は、コツコツ努力することは、正直苦手。宿題もパパって終わらせて遊びたい。でも剣道はそれではだめ。コツコツ積み上げていく。積み上げてても積み上げててもできた気持ちにならないし、くずれていく気にもなる。だから、やる気をだすまでにすごくパワーがいる。お母さんに当たる時もある。ごめんね。でも、やりだすと楽しくなるし、努力するって後からきくと返ってくることも知ったから、苦手だけどがんばる。

いいなって思うことをする。私は先日すごい大人を見つけた。お母さんの車のまどに鳥のフンがついていた。それをガソリンスタンドのおじさんが素手で、そして爪でかいてとってくれていた。その時、おじさんは笑顔だった。人のいやがることを笑顔でできる。日ごろからゴミをひろったり、遊んだ場所はきれいにしているつもりだけど、この人みたい

に私できる・・・できない・・・かも。見習いたい。これが良い行いなのかなって思った。

私は文字の中で「人」っていう字が好き。バランスがとりづらくて書くのはむずかしいけど、人と人が支え合っているって聞いて、なるほどなって興味ももった。人にはバランスがあって近づきすぎても、遠すぎてもだめ。一人は孤独だけど、自由。仲間は成長させてくれるけど、孤独に感じる時もある。甘えてもたれすぎたら、相手はつらいし、絶妙な距離感を学ぶため、けんかしたり、仲直りしたり、出会ったり、近づいたりするんだなって思う。

剣道始めて二年くらい私の私。始めたころのある試合後、「おまえなんか負けたわ」って嫌そうな顔で言われた。その時は、とつても悔しかった。今なら言われても全然平気。だってみんな仲間だから。道場が違って寒い時も暑い時も遊びたい時もみんながんばっている。叱られて悔しい日もうまくいかななくてもやもやる日も、うまくできて嬉しかった日もみんな経験してる。だから、みんな：大切な仲間。同じ言葉でも知らない人に言われたらいやだけど、大切な仲間と言われたら平気なのは、誰に言われたかのちがいで、相手との距離感の違いだと思う。た

くさんの人がいるのに、出会うことで関わることで近くにも遠くにもいてくれる存在。宇宙の惑星や星みたいな感じ。くつきすぎたらお互い燃えちゃうし、はなれても協力したら星座にもなれる。

剣道でも、心と心の間合いをしっかりとって、剣先のふれあいを大切にします。自分にも人にもやさしい気持ちこめて、今日も竹刀を交えます。

やあー！

■中学生の部 最優秀賞



剣道は人間形成の道

福井養正館

若狭町立三万中学校2年 熊谷 薩馬

僕は小さいころから剣道をしています。最初は「勝ちたい」「強くなりたい」という思いで剣道をしていました。でも、剣道は相手を倒す戦闘戦術から自らの心身を鍛えるものとなり、稽古や試合を通じ心身を鍛え、自分に打ち勝つとともに、相手への思いやり、礼儀を学ぶ「人間形成の

道」とも呼ばれています。ただ「勝ちたい」「強くなりたい」と思うのではなく、「人間形成の道」ということを大切にしなければならぬと思います。

僕が剣道を通じて学んだことは、一つ目は「気づいて行動する」ということです。小学校までは、練習試合や大会に行っても、保護者の方々がスコアをつけてくれたり、たくさんのサポートをしてくれていました。ですが中学生に上がると自分たちで考えて行動しなければいけない場面が多く、自分たちで気づき、行動しなければいけません。日常生活や学校生活でもつながっていて、困っている人がいれば気づき、行動することができれば手助けをすることができそうです。まさに道場の先生が日々言っている「風を読んで行動する」ということだと思います。

二つ目は、「礼儀」です。「人間形成の道」にも礼儀は欠かせません。礼儀とは、人の行動・作法による敬意の表し方で、剣道では最初と終わりに礼をするような敬意を表す作法のことです。江戸時代の儒学者、貝原益軒は、礼儀作法の大切さをこう記しています。

「人の礼法あるは水の堤防あるが如く。水に堤防あれば氾濫の害はなく、人に礼法あれば悪事生ぜず。」

これは、堤防が氾濫を防いでくれるように、礼儀が相手との摩擦の堤防になっているというところで、礼儀が欠如してしまえば、争いが頻発し、犯罪などの悪事につながるとい意味です。人間形成の道とはこういった社会のルールを守ることであり、たいせつなことでもあります。

三つ目は、仲間の大切さです。仲間と一緒に稽古したり試合に出場するということは、当たり前のことのようにだけ、素晴らしいことで、「仲間のために頑張ろう」「仲間が頑張っているから頑張ろう」と思ったり、仲間が自分を成長させてくれ、仲間の声掛けがとても励みになります。

剣道はオリンピック競技ではありません。その理由は、勝ち負けだけではなく、礼に始まり礼に終わり、相手に敬意をはらって戦う武道だからです。剣道は勝敗のための技術を学ぶものではなく、剣道の理念を学び、剣道修練の心構えを実践していくものだからです。

僕はこれからも剣道を通じてたくさんの方の事を学び、「人間形成の道」ということを忘れることなく、正しい人間になれるように頑張りたいです。

「剣道の理念」
「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」

【敦賀市剣連】

「剣道日本」が福井養正館を取材

11月30日(土)、「剣道日本」が福井養正館を取材訪問

剣道月刊誌「剣道日本」が11月30日(土)、今夏の「第58回全国道場少年剣道大会 中学生の部」で優勝した福井養正館取材のため、同誌の記者とカメラマンが同道場が稽古している松陵中学校を訪れました。普段通りの稽古風景を取材し、優勝した3人の館員(元井颯汰、山本優心、縄間太智)には大会を振り返っての感想や大会後の反響などを取材、堤腰一昭館長には道場の指導方針・取り組みや剣道に対する思いと、大会後の各方面からの反響などをインタビューしました。記事は2月号に掲載されました。



みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

若狭町立三方中学校剣道部

顧問 小辻 淳二

三方中学校剣道部は3年生4人、2年生5人、1年生3人です。今は男子3人、女子5人の8人で活動しています。三方中学校剣道部員の特徴は男女の仲がとても良いことです。練習中は男女、先輩後輩関係なく教え合いながら、自分たちの課題を解決しようとしています。現在の練習は火曜日から金曜日まで60分の活動です。土曜日は主に午前中に練習しています。三方地区剣道連盟に呼びかけて、一般、小学生も参加して、それぞれの目的やレベルに応じて練習しています。また、「剣道即生活 生活即剣道」剣道と生活は強く結びついているため、授業中の態度や生活態度については厳しく指導しています。

女子剣道部は、「全中ベスト8」という目標に向かって頑張っています。夏の県予選で感じた悔しさを忘れず、3年生の思いを背負って稽古に励んでいます。普段の生活から、小辻先生に指導していただいているあいさつや返事などを徹底し、「勝って喜ばれるチーム」を目指しています。



す。どんなときも笑顔を忘れず強気なチームで、目指せ全中ベスト8！
 (女子主将 吉田 ひかり)
 男子剣道部は3人という少ない部員ですが、「勝って喜ばれるチーム」をテーマに全中出場を目指して日々頑張っています。去年の夏の悔しさをバネに三方中らしく元氣よく、これからも練習に励んでいきます。
 (男子主将 熊谷 薩馬)

剣道称号・段位 合格者

全剣連 剣道六段以上合格者

剣道八段

・ 11月26日(火)日本武道館

小辻 淳二 (敦賀地区)

・ 11月27日(水)日本武道館

高野 治重 (坂井地区)

剣道七段

・ 8月24日(土)仙台市

高間 昭彦 (鯖江地区)

・ 11月9日(土)名古屋

山田 聖子 (越前地区)

斉藤 憲司 (坂井地区)

剣道六段

・ 11月10日(日)名古屋

梅田 圭仁 (福井地区)

小村 雅恵 (坂井地区)

全剣連 剣道称号(教士・錬士)合格者

教士

・ 11月26日(火)日本武道館

坪田 隆雄 (福井地区)

宮本 徹也 (福井地区)

佐藤 秀樹 (敦賀地区)

辻 慎二郎 (越前地区)

坂本 裕一郎 (福井地区)

酢谷 一司 (福井地区)

全剣連 居合道六段以上合格者

居合道六段

・ 11月30日(土)江戸川区スポーツセンター(東京都)

長谷川 翔平 (福井地区)

県剣連 令和6年度第2回剣道段位審査会

・ 開催日 8月12日(月・祝)

・ 開催場所 敦賀市総合運動公園体育館

【初段】 36名

松永 敏希 (光陽中学校)

橋本 大誠 (進明中学校)

野木場 峻 (小浜第一中学校)

小沢 權 (至民中学校)

諸田 真大 (南越前中学校)

森 孔明 (北陸中学校)

荒木 春晟 (松陵中学校)

松永 一颯 (気比中学校)

田中 陽登 (鯖江中学校)

岩谷 賀生 (松陵中学校)

乗川 七音 (気比中学校)

大内 聡 (舞上養正高等学校)

山本 泉純 (福井県警察学校)

吉田 向輝 (福井県警察学校)

松田 幸大 (福井県警察学校)

白崎 裕基 (福井県警察学校)

齋藤 翔英 (福井大学)

鎌谷 慶志郎 (福井県警察学校)

飯田 圭祐 (福井県警察学校)

窪田 圭近 (福井県警察学校)

山崎 勇哉 (福井県警察学校)

【三段】 29名
 山口慶祐 (福井県警察学校) 茨田和磨 (福井県警察学校) 姉崎翼 (福井県警察学校) 伊藤祐一郎 (歯科医師) 向井結衣 (松陵中学校) 西垣百朋子 (松岡中学校) 古川祥帆 (中央中学校) 松野瑠那 (松岡中学校) 箕輪アイラ (東陽中学校) 竹内心和 (栗野中学校) 山下真帆凛 (松岡中学校) 永田向日葵 (松岡中学校) 板倉摩奈 (福井県警察学校) 岩岡沙紀 (福井県警察学校) 大良涼歌 (福井県警察学校)

【二段】 29名
 竹内陽祐 (芦原中学校) 奥平貫示 (丸岡南中学校) 松井利矩 (三国中学校) 川畑悠 (森田中学校) 庄田駿弥 (芦原中学校) 大谷卓己 (森田中学校) 松原京之介 (小浜中学校) 小矢元生 (小浜第二中学校) 松山煌希 (森田中学校) 糊谷龍星 (松陵中学校) 木澤敬音 (森田中学校) 野村竜児 (南越前中学校) 宮本一颯 (森田中学校) 宮下蒼穹 (中央中学校) 橋詰一 (三方中学校) 福井翔祐 (森田中学校)

【参段】 7名
 齋藤大和 (福井県警察学校) 久司和樹 (福井県警察学校) 明間彩夏 (丸岡南中学校) 笠川蒼 (武生第一中学校) 呉林真衣 (三方中学校) 笹本眞依子 (鯖江中学校) 宗沢佳奈 (森田中学校) 竹沢美月 (啓新高校) 藤田ひかり (北陸高校) 吉田里桜 (北陸高校) 新道光莉 (啓新高校) 水野玲花 (北陸高校) 池田心 (福井県警察学校)

【四段】 1名
 白石遼太郎 (福井大学)

【五段】 4名
 齋藤大和 (福井県警察学校) 久司和樹 (福井県警察学校) 明間彩夏 (丸岡南中学校) 笠川蒼 (武生第一中学校) 呉林真衣 (三方中学校) 笹本眞依子 (鯖江中学校) 宗沢佳奈 (森田中学校) 竹沢美月 (啓新高校) 藤田ひかり (北陸高校) 吉田里桜 (北陸高校) 新道光莉 (啓新高校) 水野玲花 (北陸高校) 池田心 (福井県警察学校)

山下篤史 (会社員)
 土田昌和 (会社員)
 山本浩史 (中学校教員)
 西山直杜 (大学教員)

県剣道令和6年度第3回剣道段位審査会

開催日 11月24日(日)

開催場所 福井県立武道館

【初段】 34名

三田村幸志郎 (南越前中学校) 西谷零 (東陽中学校) 藤巻正光 (朝日中学校) 沢寄結斗 (南越前町中学校) 寺川凱都 (気比中学校) 野崎琉生 (南越前中学校) 北川将大 (明倫中学校) 渡邊蓮城 (春江中学校) 赤尾鴻 (金津中学校) 佐々木海緒 (南越前中学校) 兵拓哉 (武生第三中学校) 北嶋瑠騎 (明倫中学校) 永沢大和 (三国中学校) 高橋冬真 (松岡中学校) 関颯斗 (南越前中学校) 橋本昊侑 (金津中学校) 奥村昊 (南越前中学校) 小川一樹 (朝日中学校) 田中虎冴 (東陽中学校) 板村海雅 (武生第一中学校) 芦田結葉 (三方中学校) 脇本想 (春江中学校) 瀬尾彩乃 (三方中学校) 寺木千善 (坂井中学校) 瀨野夕鈴 (鯖江中学校) 八木姫愛 (金津中学校) 中荒羽未 (中央中学校) 荒川英凛 (大東中学校)

【二段】 35名

小林史乃 (森田中学校) 青木みづき (朝日中学校) 濱西実弥 (芦原中学校) 関恵里奈 (春江中学校) 高嶋夏香 (芦原中学校) 北出真穂 (坂井中学校) 東久矩 (大東中学校) 川崎一志 (芦原中学校) 八木煌誠 (金津中学校) 水野新大 (鯖江中学校) 畠中舜 (三方中学校) 脇本誠健 (藤島中学校) 大滝龍之介 (勝山中部中学校) 土田健太郎 (鯖江中学校) 向蒼空 (南越前中学校) 姉崎有真 (福井工大福井高校) 成田樹 (藤島高校) 山田和貴 (藤島高校) 池田正幸 (美方高校) 荒井健汰 (藤島高校) 水野嵩大 (高志高校) 奥山要 (会社員) 永沢海成 (自営業) 長谷川和風 (森田中学校) 松ヶ谷柚花 (万葉中学校) 前田彩純 (丸岡中学校) 長谷川沙津紀 (三方中学校) 岡井陽菜 (中央中学校) 吉田ひかり (三方中学校) 山本仁華利 (南越中学校) 脇本彩羽 (三国中学校)

- 【参段】 8名**
 刀 祢龍斗 (藤島高校)
 吉 田 光太郎 (美方高校)
 大 谷 悠介 (福井高校)
 奥 平 大貴 (金津高校)
 仲 矢 昇平 (会社員)
 田 中 敏 (会社員)
 中 村 心 思 (美方高校)
 田 中 葵 心 (北陸高校)
- 【四段】 7名**
 松 藤 脩二 (福井工業大学)
 本 間 伊 織 (福井工業大学)
 山 本 勇 樹 (日本体育大学)
 青 木 萌 子 (公務員)
 高 橋 興 治 (会社員)
 岩 本 雅 世 (看護師)
 竹 内 貴 則 (警察官)
- 【五段】 1名**
 西 川 泰 平 (警察官)

■段位審査会寸評

審査部 教士八段 岩本 卓也

令和6年度第3回目の段位審査会が県立武道館で開催されましたので寸評を述べさせていただきます。今回合格された皆さまおめでとうございます。また惜しくも不合格となりました皆さま方には、ご自分の審査内容を振りかえり、再度挑戦して頂きたく思います。はじめに左図の審査会のデータをご覧ください。

		受審者	合格者	(合格率)
初段	男子	22	20	90.9%
	女子	14	14	100.0%
弐段	男子	20	18	90.0%
	女子	17	17	100.0%
参段	男子	11	6	54.5%
	女子	2	2	100.0%
四段	男子	8	5	62.5%
	女子	2	2	100.0%
五段	男子	3	1	33.3%
	女子	1	0	0.0%
合計	男子	64	50	78.1%
	女子	36	35	97.2%
総合計		100	85	85.0%

受審者数100名、合格者数85名で合格率は85%という結果でした。男女で見えていきますと、男子の合格率が78・1%に対して女子は97・2%と高い合格率となっております。段位別に見てみますと参段男子(54・5%)、四段男子(62・5%)、五段男子(33・3%)と三段から五段

までの特に男子の合格率が低い傾向が読み取れるかと思えます。次に審査員はどこを審査しているのか?について説明したいと思います。

全日本剣道連盟が発行している「称号・段級位審査規則・細則」という冊子があり、その中に審査の着眼点が記載されております。

初段から参段まで

1. 正しい着装と礼法
2. 適正な姿勢
3. 基本に則した打突
4. 充実した氣勢

四段および五段

- 上記の4項目に加えて、
5. 応用技の熟練度
6. 鍛錬度
7. 勝負の歩合

この7つの項目で各審査員が審査することになります。この7つの項目で合格率の低かった参段男子(54・5%)、四段男子(62・5%)、五段男子(33・3%)を検証してみます。

参段男子(54・5%)、四段男子(62・5%)に最も不足していた項目は「4. 充実した氣勢」でした。蹲踞から立ち上がった時、いきなり間合に入り、打った打たれたを繰り返す立ち会いがほとんどでした。蹲踞から立ち上がった時、まずは相手を圧倒するような大きな発声が不可欠で

す。氣勢が充実していないと気剣体一致の打突にはつながりません。特に参段までは「7. 勝負の歩合」の項目はありませんので、試合のように当てようとはせずに、1〜4までの項目をしっかり頭にいれて審査に臨んで頂きたいと思えます。

五段男子(33・3%)で最も不足していた項目は、「1. 正しい着装と礼法」「5. 応用技の熟練度」でした。五段審査になるとスピードやパワーに劣る年配の受審者も増えてきます。もちろん審査員は年齢に則した受審段位に相応しい剣道の理合が体現できているのかを審査するわけですが、年齢に関係なく整えることができる項目の「1. 正しい着装と礼法」が出来ていない受審者がおられました。剣道は礼に始まり礼に終わるとい言葉もあるように、特に礼法所作をすごく大切にしており、五段は指導者としての資質も審査されることとなりますので、再度、最も基本的な着装や礼法の見直しをおこなってほしいと思えます。

五段審査の場合、性別や年齢に幅がある受審者で構成されますので、例えば、ご年配の方や女性の方が、若くてスピードやパワーがある男性受審者と立ち会いをおこなう時には、正面衝突するような立ち会いではなく、相手の力を利用して捌い

たり、応じたりする「5. 応用技の熟練度」の項目が必要になってくると思います。仮に有効打突が奪えなかったとしても、応用技を使えているのかどうかといった観点でも審査しておりますので、試合のように無理して有効打突を取りにいかなくても構いません。

段位審査は試合ではなく剣道の理屈(剣の理法)が表現できているのかどうかを審査しますので、その点をしっかりと理解し次回の審査に臨んで頂きたくよろしくお願い致します。

益々のご精進を祈念いたします。

県剣道令和6年度第1回居合道段位審査会

・8月25日(日) 越前市武道館

【初段】 3名

梅原保高 (越前地区)

日下太一 (越前地区)

辻慎二郎 (越前地区)

【貳段】 3名

毛利宗弘 (福井地区)

和田克枝 (越前地区)

日下博幸 (越前地区)

女性剣士の部屋

ペンリレー

坂井地区剣道連盟 小村雅恵

私は、小学1年生の時に剣道を始めました。泣き虫だった私を、強い子にするために剣道をさせたかった父。何も考えずに剣道を始めてしまった私。剣道教室の指導者だった父は、若い頃はとても怖く、まさに鬼！毎回の稽古で涙を流していた私は、何度か剣道を辞めたいと言ったこともありました。

そんな私は中学生になり、結局剣道部に入室しました。中学校では剣道部の仲間も増え、みんなで頑張ることがとても楽しく感じました。毎週土曜日になると、高校への出稽古へ行きました。仲間と自主的に朝練もしました。団体戦で勝つことができるようになり、もっと強くなりたいという気持ちが強くなったのは、この頃が初めてだったと思います。

その後、ずっと剣道が続けてきた私でしたが、結婚、出産、子育てと、忙しい日々を過ごす中で、思うように剣道ができなくなりました。このまま剣道をやらなくなるのかなと思っていたある日、「剣道をやろうかな」と言って、娘2人と主人が地元の剣道教室に行き始めました。そうです、私が通い続けた剣道教室です。まさか、我が子が自ら剣道を始めたいと言うなんて思いもよらなかつたのですが、このことをきっかけに、私は剣道を再開することができました。

今は、仕事で時間ギリギリになることもあります。週2回の稽古を欠かさず行くようにしています。家族や剣道教室のみんなと稽古ができるのは、とても楽しいです。ありがたいことに、娘たちも剣道を通して、かけがえない仲間が

たくさんできました。仲間と切磋琢磨している姿は本当に素晴らしいです。娘たちには、これからはたくさんのお会いを楽しんでいってもらえたらと思っています。

何度も辞めたいと思った剣道でしたが、今もなお続けることができ、本当に良かったと思っています。「一緒に剣道をしよう」と言ってくれた娘たちと主人に感謝し、これからも稽古に励んでいきます。



▲前列左端が小村雅恵さん



金津町少年剣道教室の稽古の様子

私たちは「福井県の剣道」を応援しています



《福井県剣道連盟 賛助会員》

- | | |
|------------------|-----------------|
| (株)マルツホールディングス 様 | 医療法人 保仁会泉ヶ丘病院 様 |
| (株) 法 美 社 様 | メディアボックス(株) 様 |
| 千寿会医療福祉グループ 様 | 医療法人 相木病院 様 |
| ノザキモーター 様 | (株) アイビックス 様 |
| いづみ観光バス(株) 様 | カラヤ(株) 様 |
| 衆議院議員 稲田朋美 様 | 参議院議員 山谷えり子 様 |
| 高 森 政 義 様 | 岩 崎 貞 夫 様 |
| 鶴 田 裕 一 様 | 卯 目 ひ ろ み 様 |
| 伊 藤 祐 一 郎 様 | |

(一財)福井県剣道連盟は、剣道連盟の活動にご理解とご協力をいただける個人・団体・企業様を募集しています。

■年会費	個人会員	1口 10,000円
	公益または公益に準じる事業を目的とする団体	1口 10,000円
	企業等	1口 30,000円

- 特 典
- ①当連盟の開催する大会の案内
 - ②当連盟のホームページへの掲載
 - ③当連盟の事業計画・収支予算・収支決算報告書の提供
 - ④当連盟の事業に対して意見を述べる
 - ⑤剣道だよりへの掲載
 - ⑥当連盟主催大会のプログラムへの掲載

■申し込み (一財)福井県剣道連盟事務局までご一報ください
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
TEL・FAX: 0776-28-6616 e-mail: fkikendo@herd.ocn.ne.jp